



十西小だより

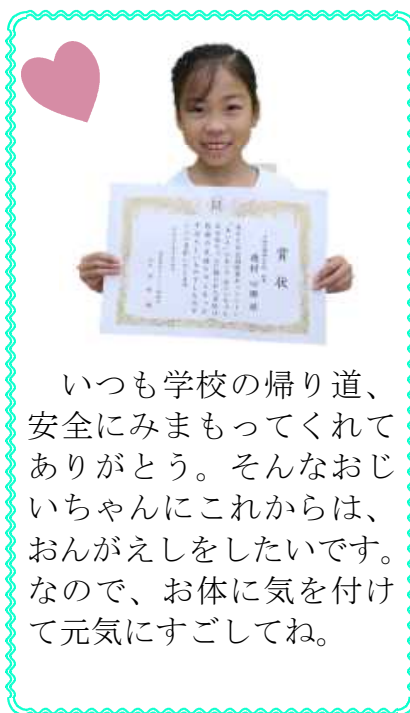
弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第27号



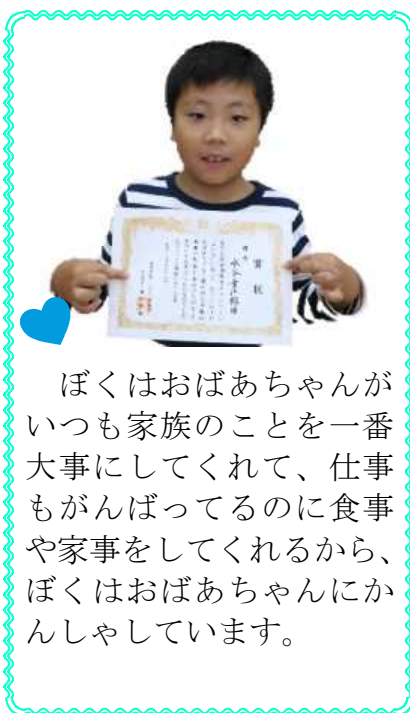
平成30年10月26日

「おじいちゃん、おばあちゃんに手紙を書こう」

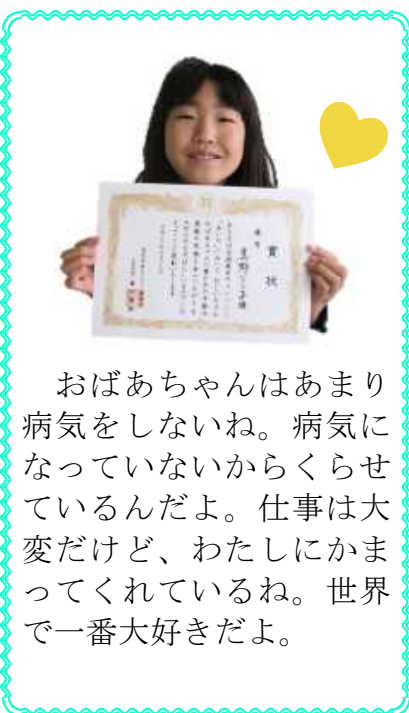
全国敬老キャンペーン「おじいちゃん、おばあちゃんに手紙を書こう」において、本校から3名の児童の作品が選ばれました。



いつも学校の帰り道、安全にみまもってくれてありがとうございます。そんなおじいちゃんにこれからは、おんがえしをしたいです。なので、お体に気を付けて元気にすごしてね。



ぼくはおばあちゃんがいつも家族のことを一番大事にしてくれて、仕事もがんばってるのに食事や家事をしてくれるから、ぼくはおばあちゃんにかんしゃしています。



おばあちゃんはあまり病気をしないね。病気になっていないからくらせているんだよ。仕事は大変だけど、わたしにかまってくれているね。世界で一番大好きだよ。

自分が支えてもらっていることに気づき、感謝できることは、たいへん素晴らしいことです。このようなすてきな手紙を書ける子どもたちに、拍手を送りたいと思います。

気付く力

先日の朝礼で、「掃除をするときに必要な力」について話をしました。汚れやごみを取り除くために使う道具を選択する力や、磨いたりこすったりする腕や指先の力など、いろいろな力が考えられます。その中で、一番大切な力は、『『汚れやごみに気付く力』ではないか』と子どもたちに問いかけました。もし、汚れに気付かなかつたり、ごみを見落としたりしてしまえば、その場所はきれいにされることはありません。逆に、気付く人が多ければ、どんどん汚れやごみを取り除かれてきれいになっていきます。「気付く人が多いと、十西小はぴかぴかになり、みんなの心もぴかぴかになりますね」と伝えました。

気付くことが行動の始まりになります。このことは掃除だけでなく、他のことにも言えるのではないのでしょうか。毎日の掃除の時間の中でも、少し意識を変えるだけで、「生きる力」が育ちます。この話をしてから、清掃終了のチャイム間際まで活動に熱心に取り組む姿が増えたように思います。

